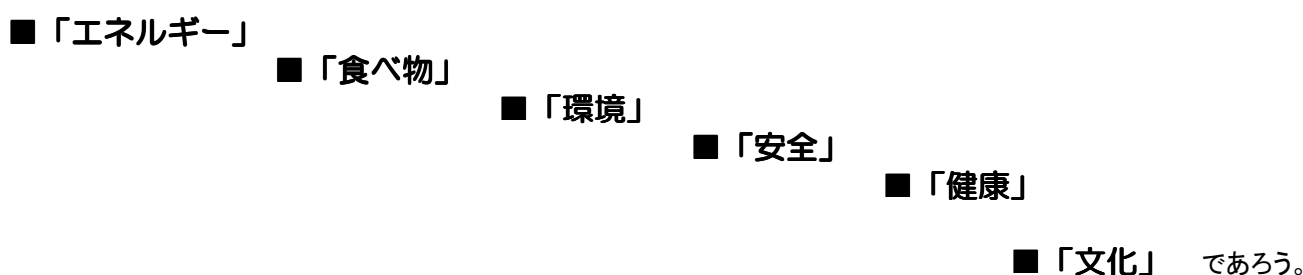


日本の強みを伸ばす

第二次世界大戦以降(1945年)、かつて人類が経験したことのないハイスピードで世界人口は急増し、地球レベルでの環境汚染、地球温暖化が進んだ。1950年の世界人口は25億人であったが、1987年には50億人、2011年には70億人に達した。たった61年間で世界人口は2、8倍にもなったのだ。

経済の面からみると、欧米、日本を中心とした先進国は国家として成熟段階に入り、世界経済の中心は中国やインド、アジアの新興国に動いてきている。イデオロギーの東西対立(資本主義と共産主義)はほぼなくなったが地域民族紛争、宗教対立(キリスト教×イスラム教、イスラム教内部の対立)が激化してきた。

21世紀に入り、グローバル化が急速に進み(通信・金融・企業活動・人の移動・・)世界は大きく構造変化をおこしている。地球レベルで考えるとこれからの世界のキーワードは、



これらの中で日本は「エネルギー」を除き世界のトップクラスを走っている。

健康にいい「和食」は世界的に認められてきた。

島国で森林比率約7割の日本は降水量が多く年間1700ml、世界平均の2倍、その雨量はヨーロッパの3倍以上。豊かな森林から発生するきれいな空気・新鮮な水は国土の津々浦々まで行き渡っている。恵まれた「環境」にいる。水道水が飲める珍しい国だ。水は世界の貴重な資源。産油国のアラブでは石油が豊富な割に産業が育たない、それは水がないから。農業だけでなく、自動車・電気・鉄鋼・・産業にとって水は欠かせないのだ。

世界トップクラスの治安、日本人の公共心、清潔なトイレ、食の「安全」も日本の強みだ。

和食と国民皆健康保険、先進医療に支えられた長寿国、「健康」大国でもある。

和食・伝統文化(歌舞伎・お茶・お花・俳句・・)近代文化(アニメ・漫画・・)に代表される日本の「文化」は一目置かれている。大半の日本人が気が付いていない日本人の「おもてなし」の気持ちは世界に誇れる文化なのだ。

2014年現在、日本は21世紀の世界が目指そうとしている要素の大半を既に持っている成熟国家で、世界有数の住みやすい国なのだ・・という認識が大切。国が「平和」であることも非常に重要だ。国民はみんな平和を持つ大切さを心に刻みつけている。日本では身分の差がなく、国民は自由に移動ができ、医者を選べる国なのだ。

1991年のバブル崩壊後、失われた20年を経験し、日本人は「心のありよう」が進化してきた。過去の成長至上主義が人生を豊かにするものとは限らない・・と分かってきた。従来の物質的な欲求(金・物を第一に考えるライフスタイル)から日常生活の中で得られる内面的充足を大事にする方向に向かっている。心で自分なりの幸せを感じているのだ。

日本人は、自分たちの弱点や課題については明確に認識し、メディアなどでも声高に指摘する。しかし、自分たちが持っている本質的な素晴らしさは、十分に認識していない。日本では当たり前とされていることは、海外に行くと美德となるのだ。

そして、今の日本は歴史上でもトップレベルで豊かな状態だ。日本と同じ位の経済水準で、社会的な問題が日本より少なく、かつ経済成長をしている国が他にあるだろうか。あるとすれば、北欧など日本とは人口的に比較にならない規模の国だけである。今後、日本は営々と日本人が築いてきた日本の強みを自信を持って、より磨き充実させていくことが大事である。